

- 1 日時 令和7年11月〇日(〇) 第〇校時
2 学年 第2学年〇組
3 単元名 「えがおのひみつたんけんたい」 内容(3)(8)
4 単元について

単元の目標

地域の多様な場所や人々に関わる活動や、学んだことを身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えたり、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることや、身近な人々と関わることよさや楽しさが分かるとともに、地域に親しみや愛着をもち適切に接したり安全に生活したり、進んで触れ合い交流したりしようとするができるようにする。

目指す子供の姿

- 身近な人々と関わるよさや楽しさ、適切な接し方が分かっている。
- 地域の人々と進んで関わることで、地域のよさや働きを捉えたり、相手に応じて伝え方を選んだりしている。
- 地域に親しみや愛着をもち、進んで触れ合ったり、安全に生活したりしようとしている。

現在の子供の姿

本学級の児童は、7月に「まちが大すきたんけんたい」の学習で〇〇のまちを歩き、どんな施設や店があるのかを知った。自分たちが住んでいるまちではあるが、あまり詳しくは知らないことに気付いた児童が多かった。本単元の導入で児童アンケートを行ったところ、「『なぜ』『どうなっているの』などの疑問をもつようになってきています。」「話し合いで、何かを進めることが楽しいです。」「友達の考えを聞いたりよさを見付けたりすることができます。」などの項目において肯定的評価をした児童が多く、疑問をもとに、話し合うことよさを感じている児童が多いことが分かった。しかし、自分の考えをもつことが難しい児童が1割程度おり、自分の考えや思いを書いて表現することはできるが、話し合い活動や全体交流の場において、友達に伝えることが難しい児童もいる。また、言われたことは前向きに取り組むことができるが、自分から進んでやってみたいという思いをもつことが難しい児童がいる。

単元の価値

本単元は、地域の多様な場所や人々について調べ、気付いたことを伝え合う活動を行うことで、〇〇のまちにある施設や店のよさや働き、地域の人々と自分たちの生活との関わりを知ることができる。そして伝えたいことや伝え方を選んで表現することで、身近な人々と関わることよさや楽しさに気付くことができる単元である。

また、今まで何気なく見かけたり、買い物をしたりしていた施設や店で見学やインタビュー、体験活動をする学習を通して人との関わりを増やし、その仕事に携わる人々の思いや願いに気付くことができる。

このような活動を通して、地域に親しみや愛着をもち、進んで触れ合い交流することで、地域との関わりを豊かなものにしていくことができ、適切に接したり安全に生活したりすることができるようになることを考える。

働きかけ・環境設定

今回の「えがおのひみつたんけんたい」では、〇〇のまちにある施設や店で「えがおのひみつ」を見付ける活動を中心に単元を展開していく。単元の導入では、「まちが大すきたんけんたい」で見付けた「もっと知りたいこと」「やってみたいこと」を思い出す活動から、児童が探検する場所を決めていく。

見学やインタビューに行く前には、見学場所についてしっかり想像できるようにし、聞きたいことや知りたいことを考えることで、探検への意欲を高めていきたい。その際、自分の考えや友達の考えを整理し

ていくために、付箋や思考ツールを活用して話し合い活動を進めていく。聞きたいことや知りたいことが思いつかない児童への手立てとして、施設や店の内部が分かるような写真を用意して、買い物に行ったときに見たものや聞こえてきたことなど、これまでの生活経験を思い出すことができるようにする。

見学・インタビュー終了後は、この探検で分かったことやもっと知りたいこと、やってみたいことはなにかを話し合い、2サイクル目の体験活動につなげていく。体験活動に行く前には、施設や店の人がどのようなことを工夫して働いているのかをしっかりと振り返ることで、実際に活動した際の様々な気付きにつなげていきたい。そして、施設や店で働いている人に焦点を当て、人とのつながりを意識できるようにする。

体験活動後には、もう一度インタビュー活動を設定することで、働いている人の仕事に対する思いや願いなどを感じることができるようになりたい。

一連の体験活動終了後には、自分たちが行ってきたまち探検は様々な人が関わってくれたことで実現できたということに気付き、自分たちがお世話になった施設や店の人たちに感謝の気持ちを持ち、自分たちに何かできることはないか考えるための活動を設定する。ポスターやパンフレット、動画など、インタビューや体験活動で学んだこと考えたことを生かして、お世話になった人を笑顔にすることを考えるようにする。自分たちに関わってくれた人たちが喜んでくれると、自分たちもうれしいということを実感できるように活動を進めていきたい。

学習全体を通して、グループ交流や活動を積極的に取り入れることで、思いを伝えることが難しい児童も安心して表現できるようにしていく。一人では気付かなかったことに気付けるように、付箋に書いた思いを交流することで、グループ活動を充実させたり、アクティブリアクションをしながら活動の報告会を行ったりすることで、もっと知りたい、やってみたいという思いや願いをもつことができるようにしていきたい。探検の計画や振り返りをする中で、話し合い活動を多く取り入れていき、友達と話し合うことの良いところを実感できるようにする。

つながる学び

【国語科】「こんなもの、見つけたよ」で学習したことを生かし、見つけたものや気付いたことをメモすることができるようにしたい。「あったらいいな、こんなもの」で学習したことを生かし、相手の考えを詳しく聞くために、大事なことは何かを考えて、質問することができるようにしたい。

【生活科】「まちが大すきたんけんたい」で学習したことを生かし、探検で知りたいことや見つけたことを付箋に書き、友達に伝えることができるようにしたい。

【社会科（3年生）】「広島市の様子」「広島市の人々の仕事」で、地域の様子や様々な活動、地理的環境や人々の働きなどについて理解することができるようにしたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 地域の多様な場所や人々に関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わるよさや楽しさ、適切な接し方が分かっている。	○ 地域の多様な場所や人々に関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや地域のよさや働きを捉え、相手に応じて伝え方を選んでいる。	○ 地域の多様な場所や人々に関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、地域に親しみや愛着をもち、進んで触れ合い交流することや、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。
① 探検の計画を立てる話し合いを通して、働く人と関わる時の適切な接し方に気づき、インタビューや活動の仕方が分かっている。 ② 地域で働いている人々や、様々な場所が自分たちの生活を支えていることや、それらが自分と関わっていることに気付いている。 ③ 自分の気持ちが相手に伝わることのよさに気付いている。 ④ 地域の人々と関わる楽しさや喜びに気付くとともに、地域への親しみや愛着が増し、人々と適切に交流できるようになった自分たちの成長に気付いている。	① これまでのまち探検を通して、更に関わりを深めたいという思いをもち、何ができるか話し合っている。 ② まち探検に出掛けて、見たり聞いたり、やってみたりしたいことを考え、その場に合った行動を予想しながら、計画を立てている。 ③ 地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら捉えている。 ④ 伝える相手に応じて、学んだことや伝えたい内容の表現方法を工夫して考えている。	① 働く人々に関心や期待をもち、進んで探検に行こうとしている。 ② まち探検に出掛けて、インタビューや体験活動などに喜んで取り組もうとしている。 ③ まちやお世話になった人のことを伝えるための準備を、友達と協力しながらしようとしている。 ④ 地域の人々やまちに親しみや愛着をもち、地域や身近な人々と関わることのよさを大切にしようとしている。

6 指導と評価の計画（全28時間）

小単元名	主な活動内容	知	思	態	評価方法
まち探検の計画を立てよう (3 h)	前回のまち探検を思い出しながら話し合い、もっと知りたい場所やお店について話し合う。		①		行動 発言
	まち探検する場所を決めたり、まち探検の目的を確認したりする。	①			行動 発言 ワークシート
	探検場所について自分が「知っていること」を考える。働く人の様子を予想したり、想像したりしながら「知りたいこと」を考える。		②		
えがおのひみつを見付けに行く計画を立てよう (2 h)	グループごとに「知りたいこと」の意見交流を行い、店や施設で「聞いてみたいこと」「見てみたいこと」などを話し合う。			②	行動 発言
	グループで出た意見を整理し、役割分担をする。		②		行動

えがおのひみつを見付けに行こう (4 h)	探検のときに気を付けることを考えたり、インタビューの練習をしたりする。	①		行動 発言 ワークシート
	全体でまち探検の流れを確認したり、グループで時間や道順の確認をしたりする。		②	行動 発言 ワークシート
	まち探検に出掛けて働く人の様子を見たり、インタビューをしたりする。		②	行動 発言 ワークシート
	見学の振り返りをして見付けたことを紹介し合う。		④	行動 発言 ワークシート
お店でやってみよう (10 h)	見学した店や施設で、やってみたいことを考える。		①	行動 発言 ワークシート
	体験のときに気を付けることを考えたり、練習をしたりする。		②	行動 発言 ワークシート
	体験活動をする。		②	行動 発言
	体験活動の振り返りをするとともに、グループごとにもっと聞いてみたいことを話し合う。		③	行動 発言 ワークシート
	グループで出た意見を整理し、役割分担と練習をする。		②	行動 発言
	もっと聞きたいことをインタビューする。		②	行動 発言
	探検や体験活動、インタビューをして分かったことや思ったこと、えがおのひみつ（仕事に対する思い）などをまとめる。		④	③ 行動 発言 ワークシート
	グループで分かったことや思ったこと、えがおのひみつ（仕事に対する思い）などについて話し合い、紹介カードにまとめる。		③	③ 行動 発言 紹介カード
	働く人のえがおのひみつ（仕事に対する思い）を全体で発表し合い、交流する。	②	④	行動 発言 紹介カード
お世話になった人をえがおにしよう	探検や体験活動、インタビューでお世話になった人への感謝の気持ちを思い起こし、もっとえがおになってもらう方法を個人で考える。		④	行動 発言 付箋 ワークシート
	グループでお世話になった人にもっとえがおになってもらう方法を話し合い、全体で紹介し合う。		③	行動 発言 ワークシート

(本時 2 / 9 h)	グループでアドバイスをし合ったりして、考えた方法の準備をする。		④	行動 発言 作成物
	見学した店や施設へ行き、お世話になった人にもっとえがおになってもらう活動をする。	③		④ 行動 発言
	これまでの学習を振り返り、自分自身の成長への気づきやまちへの思いを深める。	④		④ 振り返りカード

7 本時の目標

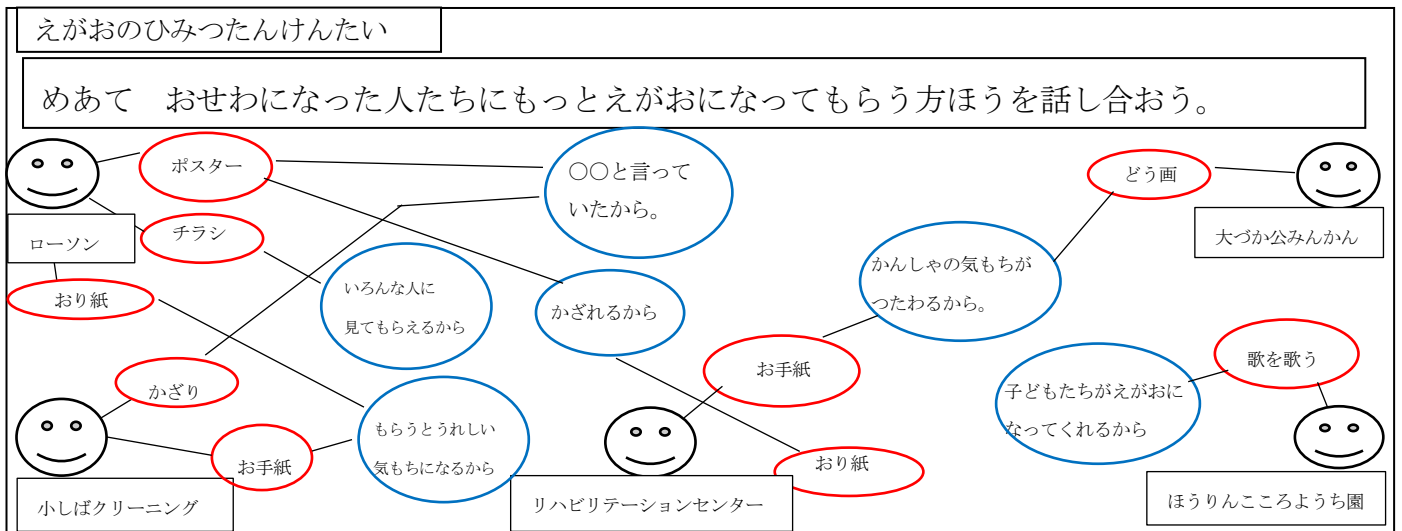
探検でお世話になった人に感謝の気持ちを思い起こしながら、もっと笑顔になってもらうための方法を伝え合うことができる。【 思考・判断・表現③ 】

8 本時の学習展開

学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）
<p>1 前時までの活動を振り返る。</p> <p>幼稚園の子や先生たちに、歌を届けたいと思ったよ。</p> <p>お店を紹介するポスターをつくりたいと考えたよ。</p> <p>お店の人に感謝状を渡したいな。</p>	<p>○ 前時に個人で考えたことを思い出すために、付箋に書いたことを見直す。</p> <p>○ 話し合いがずれないために、視点を確認する。</p>
<p>2 めあてを確認する。</p> <p style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">お世話になった人たちに もっとえがおになってもらう方ほうを話し合おう。</p>	
<p>3 個人で付箋に書いたことをグループで交流する。</p> <p>4 個人で付箋に書いたことを全体で交流する。</p> <p>インタビューや体験をして分かった、お店のすてきなところを広告にかいて、お店に置いてもらいたいな。店の役に立つと思うから。</p> <p>お店のよいところを紹介できるようなポスターを作りたい。お店に来た人たちに、知ってほしいから。</p> <p>感謝の気持ちを手紙に書いて読みたいな。自分の気持ちが伝わると思うから。</p> <p>施設や店の人が頑張っていることや笑顔のひみつをビデオに撮って紹介したいな。たくさんの人に知ってもらいたいな。</p>	<p>○ 自分の考えに自信をもてるように声掛けをする。</p> <p>○ どうしてその方法がよいと思ったのか、理由も一緒に伝えるよう促す。</p> <p>○ 必要に応じてグループ交流をする。</p> <p>○ 友達の意見を聞くことで、様々な方法があることに気付けるようにする。</p>
	<p style="text-align: center;">本時の見どころ【教師のファシリテート】</p> <p>★子供の発言を、切り返したり、つないだりして広げ、思考を深めさせる。</p>

<p>4 話し合いをもとに、もっとえがおになってもらうための方法を決める。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ はじめに決めた方法と、変わってもよいことを伝える。</p> <p>○ なぜその方法にしたのか理由をしっかりと考えさせる。</p>
<p>わたしは最初、お手紙を渡したいと思っていました。でも、〇〇さんの意見を聞いて、ポスターを作るのがいいなと思いました。なぜかという、お店に飾ることができて、いつでも見られるからです。</p>	
<p>6 次時の活動を考える。</p>	<p>○ 本時で話し合ったことをもとに、次時では、どのようなものをつくるか詳しく考えていくことを伝える。</p>

8-1 板書計画



9 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
<p>【思考・判断・表現③】 地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら捉えている。(発言・行動・付箋・ワークシート)</p>	<p>○ 話し合い活動を通して、体験でお世話になった人たちに感謝の気持ちを込めて、もっと笑顔になってもらうために何かできることはないかを考え、意見交流をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> わたしは最初、お手紙を渡したいと思っていました。でも、〇〇さんの意見を聞いて、ポスターを作るのがいいなと思いました。なぜかという、お店に飾ることができて、いつでも見られるからです。 幼稚園の先生が、子どもたちが笑顔になってくれるとうれしいと言っていたから、楽しい歌を歌ってあげたいです。次の時間は、どんな歌を歌うか考えたいです。

10 本時の見どころ

- お世話になった人たちに笑顔になってもらうために自分たちができることを考え、自分の思いをもって意見を出し合っている様子。
- 意見交流で、児童が話をつないで発表したり、教師が意見を関連付けたりする様子。